

私たち 51 期は 5 月 28 日に引退をしました。

私たち 51 期は、新型コロナウイルス感染拡大による規制により暫く続いていた制限が徐々に緩和されてきたものの 1 年生のころから〈声出し禁止〉〈49 期の先輩方の試合はインスタグラムでの応援〉になる等、今迄積み重ねてきた東大和らしさを肌で感じる事が中々出来なかった代でした。

それでも東大和高校バスケット部の伝統である【謙虚で好かれるチーム】という土台の上に更に良いものを積み重ねられる様に、限られた時間の中で日々努力し続けました。インターハイ予選では 2 回戦敗退に終わり残念ながら目標には届かなかったものの、最後までチーム一丸となって戦い抜けた事は誇りです。この悔しさは 52 期以降の後輩に託します。

私が伝えたい事は・・・〈〈継続し続ける事〉〉についてです。

ここで質問です。

①皆さんに目標はありますか？

②その目標に向けて日々努力していますか？

具体的な目標があるものの、それに向けて日々努力が続かない人も少なくないと思います。例えば『バスケットが上手になりたいから自主練習を毎日しようと思っていたけど、今日は気分が乗らないからいいや。』とか『テストで良い点を取りたいから勉強しようと思っていたけど今日はやらなくてもいいや。』とか。

正直その判断をした直後は気が楽で開放的かもしれませんが、しかし長期的に見るとどうでしょう。人間、一度染みついてしまった悪いクセはなかなかやめられないものです。『今日はいいや・・・』とつい自分の甘さが出てしまい、又翌日は『今日もいいや・・・』と続いていき最終的には目標はあるけど努力出来ない状態になり、、直前になり『あの時こうしていれば良かった』『あと〇〇日頑張っていれば』と後悔をしても時を戻す事はできません。

逆に目標に向かって妥協せず努力を積み重ねたとしても必ず達成できる訳ではありませんが、上記の様に努力をしなかった後悔はないはずです。

目標に対して結果が付いている人たちの多くは必ず日々努力を怠らずしています。

一度考えてみて下さい。。『やらない後悔』と『やる後悔』どちらを選びますか？

私はこれを読んでくれている後輩たちには特に『やる後悔』をしてほしいと強く思います。日々努力をする事は本当に大変な事だという事はわかっています。自分に甘くなってしまう気持ちもわかります。でも努力をし続けていれば必ず何かが変わります。

・ 楽な方に流されていていいんですか？

・ 自分に妥協していていいんですか？

東大和高校バスケ部は努力を惜しまず、妥協せず、チームメイト同士仲間であり、時には支え合い、時には切磋琢磨しあえるライバルであり続ける、そんな経験をしてほしいと思っています。

悔いのないように！！残ったとしても『やる後悔』又は『やった後悔』であるように！！後輩たちには是非この思いを引き継いでいってほしいです。

田中先生、飛澤先生、茨木先生、和田先生、今まで時に厳しく時にやさしく熱心に御指導をしていただきありがとうございました。

谷部さん、中根さん、OBとしてのさまざまな御指導ありがとうございました。

初音さん、度々試合会場に足をお運び写真を撮っていただきありがとうございました。

そして保護者様・関係者様並びに先輩の皆様、最後まで応援をして下さり本当にありがとうございました。多くの方々から応援をしていただける東大和高校でチームメイトに恵まれキャプテンとして過ごせた事を心から感謝をしています。

今後共、東大和高校バスケ部の応援を宜しくお願い致します。

男子バスケットボール部主将 榎本亜蓮

